

山形県のかたちは「二人の横顔」・・ 校長の朝会講話から

都道府県名学習のすすめ

山形市立第四小学校 渋谷 光夫

1 地図のおもしろさを

最近、カーナビや旅の便利な地図が普及し、地図は大人にとって身近になっています。しかし、学校では地図を活用した授業や活動が少なくなり、教室で学年に応じた常掲地図を見ることはめづらしくなっています。

また毎日のテレビや新聞等で、都道府県や世界各国の名称は溢れているものの、子どもはそれらの位置を正確には表せません。諸調査にもみられるように、地図学習は危機状況にあります。私たち社会科教師は、地図学習のあり方に、今、本腰を入れなければと考えます。

私は以前からおもしろい地図（景観・観光・歴史等）や地球儀（ビニル・ゴム・紙風船等）を集め、地図と親しんでいます。また子どもに地図のおもしろさを伝え、地図を「見る」だけでなく「読む」ことで、郷土や日本・地球を好きになって欲しいと願っています。

昨年度の全校朝会時、校長講話で地図の話題を数回取り上げました。私の若い頃から実践していることを、校長講話として話した一コマをつぎに紹介します。

2 何の形に見えるかな？

T (先生) **C** (子ども)

山形県大地図とOHPを準備し、問いました。

T 「山形県の地図です。何の形に見えますか？」

C 「人の顔です。横顔です。」

と、5年Fさんが西側を説明しました。

C 「男の人の顔！目が酒田、鼻が温海です。」

4年生の声に、2年生も頷きます。

C 「右側も人の顔に見えます。」と6年生。

T 「右側って東西南北のどっち？ 東ね。」

用語を吟味して地図感覚を喚起します。

C 「髪はパーマをかけているよ。」

C 「鼻が低い女の人に見える。」

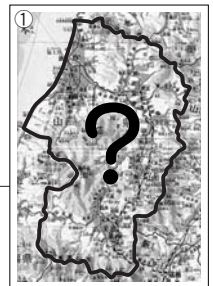
C 「首が長い人。」と、色々想像してきます。

T 「すごいことを見つけたね。山形県の形は、日本海側の西側は鼻の高い男性、東側はパーマをかけた首の長い女性に見えるんだね。」

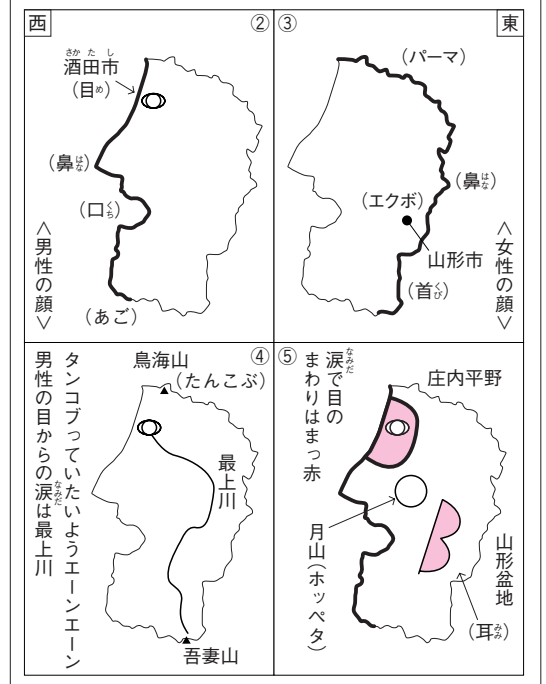
C 「本当だ！男と女の二人だ！」1・2年生も声をあげ興味が出ています。

T 「男の人の頭にたんこぶがあるね。この山の名は？」

C 「鳥海山で、2236mです。」
と5年生。



<山形県のかたちは何に見えるかな？>



T 「たんこぶが痛そうだね。先ほどFさんが、酒田市が目にあると言ってくれましたね。その酒田から涙が流れています。」と、TPに川を書き込んでいきます。

T 「涙と川の流れは逆ですが、この川は山形県内だけを流れています。何という川ですか？」

C 「最上川です。」中・高学年の大勢の声です。

C 「山形県の母なる川です。」と4年生。

T 「そう。吾妻の山から酒田の日本海に注ぐまでどんな市を流れているのかな？」と、大地図を活用しながら、地名を確認していきます。

C 「米沢・長井・寒河江・天童・東根・新庄市を通っている。」

C 「私たちの山形市は、ちょっと外れている。」

T 「今、男性の顔を見ていますが、もっと地図遊びができますよ。たとえば、涙を流した目の周りのはれぼったい顔。それが庄内平野。ほったは、山形県の中央にある1980mの月山、耳は山形盆地といえますね。」

T 「また山形県には、温泉がたくさんあります。その温泉記号をつけると、お兄さんのにきび。このように想像を拡げていくと、おもしろい地図ができちゃうね。」

と、TPに紹介し1回目の講話は終わりました。

3 校長先生、また聞かせてください

その日の中間休みに、3年生のWさんたちが「きょうの校長先生のお話、おもしろかったよ。地図の話をも、また聞かせてください。」とのうれしい声です。教頭先生は、私が使った地図等を廊下に掲示してくれました。

2回目は、東北地方の余色立体地図を赤と青の二色メガネで楽しみました。氷河がとけ海水面が上がった時の陸地はどうなるのか、段彩の色と意味を考えさせました。下学年の子どもには難しい話でしたが、立体模型のわかりやすさを意識させるひと味違った地図の学習となりました。この余

色立体地図は、国土地理院東北測量部から分けていただいていたものです。

その後は、地球儀と世界地図を使ってウェゲナーの大陸移動説で遊んだり、山形城址近くの本校の特色を生かして、なじみのある地名を昔の地図で探したりしました。地名は、地図に刻まれた歴史が物語っていることに気づいてくれたようです。

4 県名クイズに挑戦しよう！

次期学習指導要領では、47都道府県名を学ぶことが強調されます。社会科の基礎基本のひとつと考えられているからです。都道府県名を単なる暗記で終わることなく、子どもが愉しみながら学んでいくことは、我々社会科教師の責務です。

これからは多様な実践が期待されますが、『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（帝国書院）に、下図のようなヒントがあります。



帝国書院 『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.1

- ①形に注目：上記のようなもの・私の実践・
- ②文字に注目：県名に動物・山・川・島がつく
- ③位置に注目：海がない、太平洋・日本海に沿う

他にも、県名と県庁所在地が同じと違う県、特産品の県、サッカーや野球チームの県等々、クイズやゲームでの挑戦が考えられます。

授業では勿論貴重な機会を活かして、子どもと共に楽しい地図学習を創りあげていきましょう。